

標 題 : Mediterranean diet and colorectal cancer risk: results from a European cohort
地中海食事と結直腸癌 : ヨーロッパのコホートからの結果

著 者 : C.Bamia, et al. (ギリシャ アテネ大学 医学部、WHO 食品・栄養政策協力
センター 衛生・疫学・医療統計学部)

掲 載 誌 : Eur. J. Epidemiol. 28: 317-328 (2013)

要 旨 :

筆者らは地中海食事の順守と結直腸癌(CRC)のリスクとの関連を「癌に関するヨーロッパ追跡調査」および栄養研究で調査した。

地中海食事の順守を2種類の10段階尺度、「修正地中海食事スコア(MMDS)」および「センター特有の修正地中海食事スコア(CSMMDS)」で表した。

両方の尺度は同じ食事成分を共有したが、尺度の構成でこれらの成分に使用したカットオフ(分画)値が異なった。

これらの尺度と結直腸癌発症率との関連で、調整ハザード比(HR)を推計した。5,296,617人・年の追跡で、4,355件の結直腸癌発症が確認された。

高順守(スコア6-9)と低順守(スコア0-3)を比較したときに、CSMMDSは8%そしてMMDSでは11%の結直腸癌リスクの低下が推計された。

MMDSで調整ハザード比(HR)は0.89であった(95%信頼区間(CI)、0.80-0.99)。

どちらの地中海食事尺度でも2点の上昇は、統計的に有意境界の3%から4%の結直腸癌リスクの低下と関連した(MMDSでHR: 0.96, 95%CI 0.92-1.00)。

これらの関連は少し明らかで、女性の間で、結腸癌リスクで主に示され、そしてその強さはMMDSからアルコールを除外したときに変化しなかった。

地中海食事に従うことは結直腸癌リスクに対して少し有効性があるだろうと、これらの研究結果が示唆する。
